

# 日本におけるデジタル化の状況

登内 凌汰

2025 年 6 月 30 日

## 1 ブロードバンドの整理状況

OECD によるブロードバンド回線に不急にに関する調査 [1] によると, 図 1 に示すように, 日本における 100 人あたりの光ファイバー回線の加入者数は 29.0 で, 韓国, スウェーデン, ノルウェーに続いて第 4 位になっている.

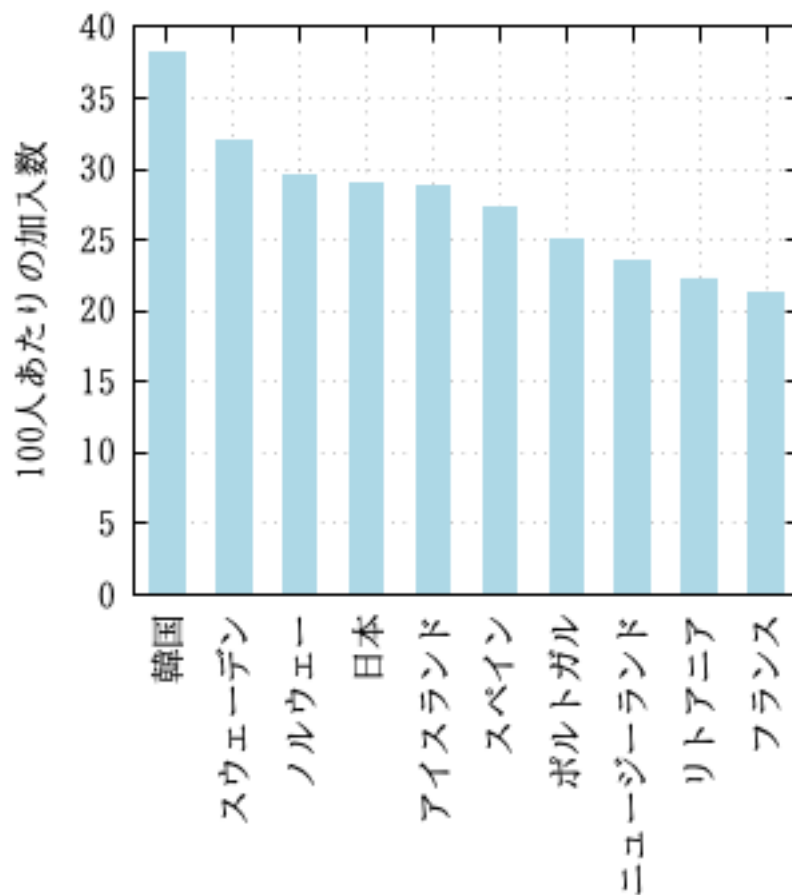


図 1: 光ファイバーの加入数 (100 人あたり)

## 2 デジタル競争力ランキング

国際経済開発研究所 (IMD) の調査 [2] によると, 日本のデジタル競争力ランキングは表 1 に示すように, 調査対象 64 カ国中, 総合で 28 位, 技術分野で 30 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング (64 カ国中)

国	総合	技術
米国	1 位	4 位
香港	2 位	10 位
スウェーデン	3 位	8 位
デンマーク	4 位	2 位
シンガポール	5 位	2 位
韓国	12 位	13 位
中国	15 位	20 位
日本	28 位	30 位

## 3 考察

- 日本はブロードバンドの整備状況では上位に入っており、通信インフラは充実している。しかし、それに比べてデジタル競争力のランキングが低いことから、インフラを活かしたイノベーションや人材育成が不足している可能性がある。
- 日本は技術的インフラは整っていても、それを活用するためのスキルや教育、ビジネスでの活用が他国に比べて遅れていると考えられる。デジタル人材の育成や企業の DX（デジタルトランスフォーメーション）推進が重要である。
- デジタル競争力を高めるためには、国内政策の見直しとともに、国際的な技術トレンドや基準への対応が必要である。日本独自のやり方に固執するのではなく、グローバルスタンダードを意識した取り組みが求められる。

## 参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.